

## 要 約

### 試験委託者

環境省

### 表題

2,6-キシレノールの藻類 (*Pseudokirchneriella subcapitata*) に対する生長阻害試験

### 試験番号

A050069

### 試験方法

本試験は「新規化学物質等に係る試験の方法について〈藻類生長阻害試験, ミジンコ急性遊泳阻害試験及び魚類急性毒性試験〉」(薬食発第1121002号, 平成15・11・13製局第2号, 環保企発第031121002号, 2003)(以下, 化審法テストガイドラインと称する)に準拠して実施した。

- 1) 培養方式: 止水式(開放系), 振とう培養(100rpm)
- 2) 暴露期間: 72時間
- 3) 試験濃度(設定値):  
対照区,  
4.00, 8.50, 18.0, 38.0, 80.0 mg/L  
公比: 2.1
- 4) 試験液量: 100 mL/容器
- 5) 連数: 6容器/対照区, 3容器/濃度区
- 6) 初期細胞濃度: 前培養した藻類  $5 \times 10^3$  cells/mL
- 7) 試験温度:  $23 \pm 2$  °C
- 8) 照明:  $75 \mu\text{E}/\text{m}^2/\text{s}$ (装置中央フラスコ液面付近)で連続照明  
(装置内変動:  $\pm 20\%$ 以内)
- 9) 分析法: 高速液体クロマトグラフィー(HPLC)

## 結 果

### 1) 試験液および試験培養液中の被験物質濃度

測定値の設定値に対する割合は、暴露開始時の試験液において 97～107 %、暴露終了時の試験培養液において 92～96 %であった。阻害濃度の算出には測定値の平均値（時間加重平均）を用いた。

### 2) 生長速度の比較による阻害濃度

半数生長阻害濃度 ErC50 (0-72h) : 47.7 mg/L (95%信頼区間：算出不可)

最大無影響濃度 NOECr (0-72h) : 3.94 mg/L

### 3) 生長曲線下面積の比較による阻害濃度

半数生長阻害濃度 EbC50 (0-72h) : 14.8 mg/L (95%信頼区間：9.89～22.2 mg/L)

最大無影響濃度 NOECb (0-72h) : 3.94 mg/L

### 4) 藻類の形態観察

暴露終了時の顕微鏡下での細胞形態観察の結果、全濃度区において、細胞形態の変化（収縮、膨張、破裂等）や細胞凝集は認められず、また、対照区との相違もなかった。